

事故事例について

平成 10 年 4 月

埼玉県浦和市において、自動防火シャッターが突然降り始め、2 階の教室に向かう小学 3 年生の男児（8 歳）がシャッターをくぐり抜けようとして、ランドセルが引っかかり、うつぶせの状態です首を挟まれました。（死亡）

【 関連調査事例 】

当時埼玉県内 1,411 の公立小中学校（防火シャッター 833 校）で防火シャッターの誤作動が今回を含め 29 件あった。 防火扉の誤作動が 61 件発生している。

東京都内の公立学校 2,328 校の内、平成 7 年以降 防火シャッター・防火扉の誤作動が 310 件発生、内 2 件で生徒が重傷をおった。

横浜市内の公立小中学校 513 校で 14 日前後 3 日間で 24 校、27 件の防火シャッター誤作動が発生していた。

主な原因は、結露・ほこり・虫、生徒のいたずらであり、その他調理の煙、工事の粉塵、自動車の排ガス等も考えられるとされています。

【 事故事例抜粋 】

- 昭和 56 年 08 月 九州（福岡）・博多区役所において防火シャッターが突然降下、主婦が大けが。
- 昭和 57 年 05 月 東京（板橋）・小学校において防火シャッターが突然降下、生徒が首を挟まれけが。（煙感知器に虫が侵入作動）
- 昭和 62 年 03 月 長野（長野）・小学校の防火シャッターが降下し、くぐり抜け遊びをしていた生徒が首を挟まれけが。
- 平成 01 年 03 月 埼玉（蓮田）・中学校において避難訓練の際、中 1 女子生徒が降下してきた防火シャッターに挟まれけが。
- 平成 10 年 04 月 埼玉（浦和）・突然防火シャッターが降下しくぐり抜けようとして挟まれ死亡
- 平成 16 年 11 月 埼玉（所沢）・手動レバーの誤作動により防火シャッターが降下し男児が首を挟まれ重傷
- 平成 18 年 06 月 新潟（五泉）・降下してきた防火シャッターに首を挟まれ重傷

上記事故事例以外に、防火シャッターの誤作動等による降下の件数につきましては、かなり発生しているものの公表はされておられません。

尚、管理シャッター等の重大事故についても発生しているのが実情です。